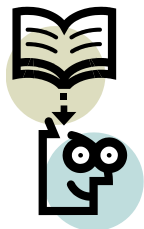


科 目 名	地域資源活用	単 位 数	2 単位	学科・学年	食品ビジネス科 科 2 年																																								
使用教科書	グリーンライフ	農文協	副教材等																																										
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																												
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table><tr><td>①知識・技能</td><td colspan="4">農業・農村が持つ多様な機能や魅力に関心を持ち、調査や企画立案に意欲的に取り組むとともに、農業生産関心・意欲・態度に関連づけて実践的に取り組もうとする態度を身に付けている。</td></tr><tr><td>②思考・判断・表現</td><td colspan="4">農業生産と地域の文化や料理などを多面的に考察し、高知県や地域にあった思考・判断 適切なグリーンライフの在り方を判断できる。</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="4">農業や農村の多面的な機能や魅力を把握し、市民農園や観光農園・直売所な技能・表現 どの企画、開園、運営などができる基礎的な知識を身に付け、その考察を表現できる。</td></tr></table> <table><tr><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td>学習状況観察</td><td>◎</td><td>○</td><td>—</td><td>授業態度</td></tr><tr><td>発表</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>発言</td></tr><tr><td>提出</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>授業ノート・プリント</td></tr><tr><td>定期考査</td><td>—</td><td>◎</td><td>◎</td><td>定期試験</td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					①知識・技能	農業・農村が持つ多様な機能や魅力に関心を持ち、調査や企画立案に意欲的に取り組むとともに、農業生産関心・意欲・態度に関連づけて実践的に取り組もうとする態度を身に付けている。				②思考・判断・表現	農業生産と地域の文化や料理などを多面的に考察し、高知県や地域にあった思考・判断 適切なグリーンライフの在り方を判断できる。				③主体的に学習に取り組む態度	農業や農村の多面的な機能や魅力を把握し、市民農園や観光農園・直売所な技能・表現 どの企画、開園、運営などができる基礎的な知識を身に付け、その考察を表現できる。				評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	◎	○	—	授業態度	発表	○	○	◎	発言	提出	○	○	◎	授業ノート・プリント	定期考査	—	◎	◎	定期試験
①知識・技能	農業・農村が持つ多様な機能や魅力に関心を持ち、調査や企画立案に意欲的に取り組むとともに、農業生産関心・意欲・態度に関連づけて実践的に取り組もうとする態度を身に付けている。																																												
②思考・判断・表現	農業生産と地域の文化や料理などを多面的に考察し、高知県や地域にあった思考・判断 適切なグリーンライフの在り方を判断できる。																																												
③主体的に学習に取り組む態度	農業や農村の多面的な機能や魅力を把握し、市民農園や観光農園・直売所な技能・表現 どの企画、開園、運営などができる基礎的な知識を身に付け、その考察を表現できる。																																												
評価方法\観点	①	②	③																																										
学習状況観察	◎	○	—	授業態度																																									
発表	○	○	◎	発言																																									
提出	○	○	◎	授業ノート・プリント																																									
定期考査	—	◎	◎	定期試験																																									
履 修 上 の 注 意	○ 授業では毎時間板書内容をノート、またはプリントに書き写してもらいます。ノートを準備しておいてください。 ○ ノート、またはプリントを時々提出してもらいます。欠席した場合には、休んだ分の内容を提出日までに書き写すようにしてください。 ○ 定期試験前に補習を行う場合があります。 ○ 授業中調査した内容を発表してもらいます。 ○ 授業時に実習を行う場合があります。実習服を常に準備しておいて下さい。 ○ 校外に出て調査研究してもらいます。社会ルールを厳守し、事前準備をしてから臨んでください。																																												

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1 学 期	4 5	第1章 グリーンライフの世界 「人間生活とグリーンライフ」	24	グリーンライフとは余暇活動であるとともに環境保全や文化・経済を高める活動であることを理解する。 農業の魅力や農村の自然や文化・料理などについて知識を深める。 農業や農村が持つ多面的な機能について理解を深める。	年間を通じて次の学習活動を行います。 教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習する。 【学習状況観察】 【ワークシート】 【小テスト・発表】 【定期考査】 【自己評価】 【その他】
	6 7	第2章 農業・農村の機能の発見と活用 「農業・農村の魅力と『農』の世界を 探る」・ 「自然環境と農業・農村の発見・活用」 「地域農産物の発見と栽培・加工」 「農村文化の発見と活用」 「農業・農村体験の企画と指導・援			
2 学 期	9 10	第3章 グリーンツーリズム 「グリーンツーリズムの特徴とあゆみ」 「グリーンツーリズムのおもな取り組み」	26	農家民泊やグリーンツーリズムなどの農の多面的機能を活用した観光について理解する。また、商品開発についても理解する。 世界的なグリーンツーリズムの動きについて理解を深める。 企画と運営について理解を深める。 今後の可能性について理解を深める。 市民農園の開設と運営について理解を深める。	出席状況などを総合的に判断する。
	11 12	「グリーンツーリズムの企画と運営」 「グリーンツーリズムと農業・農村生活の向上」 市民農園 「市民農園の開設と運営」			
3 学 期	1 2 3	第5章 観光農園、直売所 「観光農園の企画・開園と運営」	20	観光農園、直売所の企画・開園、運営について理解を深める。 自分の住んでいる地域の観光農園や直売所について調べる。	
			70		